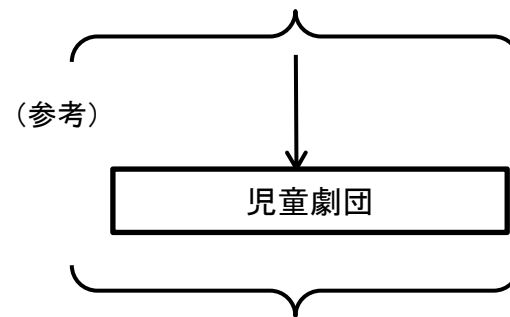
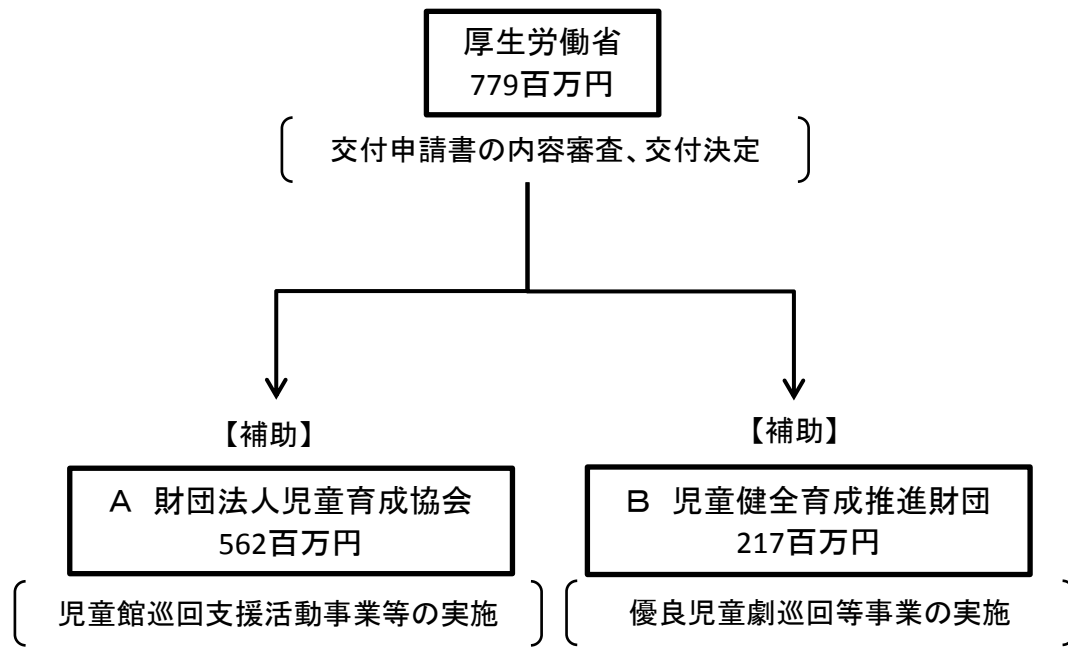


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	優良児童劇巡回等事業費	事業開始年度	平成6年度	作成責任者		
担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	担当課室	育成環境課	真野 寛		
会計区分	年金特別会計児童手当及び子ども手当勘定	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	優良児童劇巡回事業等の国庫補助について(厚生事務次官通知 平11.6.15厚生省発児第103号) 児童館巡回支援活動等事業費等の国庫補助について(厚生事務次官通知 平6.6.23厚生省発児第109号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(財)児童育成協会及び(財)児童健全育成推進財団が、これまで培ってきた児童の健全育成に係る豊富な知識・経験、様々なノウハウ及び全国規模のネットワーク等を活用し、地域差のない児童健全育成の普及、レベルアップを図るものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	こどもの城の各事業部が行っている子どもと親の遊びを中心とした活動プログラム、社会保障審議会で推薦された児童劇(児童参加型)及び映画を全国の児童厚生施設等に巡回・提供する事業等に必要な経費を補助。 ○実施主体:(財)児童育成協会、(財)児童健全育成推進財団 ○補助率:定額(10/10相当)					
実施状況	○児童館巡回支援活動等事業 (平成20年度) 巡回事業:47か所(北海道外24都道府県)、ボランティア講習:2,564人(20年度末までの修了者) ○優良児童劇巡回等事業 (平成20年度) 児童劇巡回事業(上映回数):289回、こども映画祭(上映回数):209回 児童厚生員等研修事業(参加者数):25,695人、放課後子どもプラン指導者研修(参加者数):2,181人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	921	908	779	733	732
	執行額	921	908	779		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
総事業費(執行ベース)	921	908	779			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	「優良児童劇巡回事業等の国庫補助について」(厚生事務次官通知 平11.6.15厚生省発児第103号)及び「児童館巡回支援活動等事業費等の国庫補助について」(厚生事務次官通知 平6.6.23厚生省発児第109号)の規定に基づき、実施主体において事業完了後、事業実績報告書及び関係書類の提出を受け、本事業の実施内容、支出先及び用途について把握している。				
	見直しの余地	少子化や核家族化の進行、都市化の進展、地域社会の子育て機能の低下等に伴う育児不安や、多様な人間関係を経験する機会の減少など、子どもや家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、児童が健やかに生まれ育つための環境づくりが喫緊の課題となっていることから、引き続き、地域差のない児童健全育成の普及、レベルアップを図っていく必要がある。				
予算監視の効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記	優良児童劇巡回等事業については、昨年の行政刷新会議による事業仕分けにおいて、「予算要求通り」との評価を受けたところ。					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	巡回旅費、巡回機材運搬費、プログラム材料消耗品費、ボランティア講習講師謝金等	562			
計		562	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	劇団公演料、借料及び損料(映画等フィルム借料)、児童劇選定委員会会議等諸謝金、旅費、印刷製本費、事例DVD制作費等	217			
計		217	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0